

公益社団法人 SSP

令和7年度「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」

内閣府特命担当大臣優良賞を受賞

— オートバイで“誰もが楽しめる社会”をつくる取り組みが国に評価 —

公益社団法人 SSP（所在地：神奈川県相模原市、代表理事：青木治親）は、令和7年度「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」において、内閣府特命担当大臣優良賞を受賞いたしました。

本表彰は、バリアフリー・ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて顕著な功績を挙げた個人・団体を表彰するものです。

SSP が継続して取り組んできた、障がいの有無や年齢に関わらず、オートバイを楽しめる社会づくりが高く評価され、今回の受賞に至りました。

SSP は、身体に障がいのある方や、これまでオートバイに触れる機会のなかった方々に向け、安全対策を徹底した体験活動「SSP 体験」「SSP ライト」などを全国各地で実施しています。

補助輪付き車両の導入、専門スタッフ・ボランティアによるサポート体制、視覚・聴覚への配慮を含む情報提供など、“できない理由をつくらない”現場づくりを大切にしてきました。これらの取り組みは、参加者一人ひとりの「やってみたい」という想いに寄り添い、オートバイを通じて笑顔と自信、そして新たな一歩を生み出してきました。今回の受賞は、SSP 単独の成果ではなく、日頃より活動を支えてくださるボランティアの皆さん、協力企業・団体、自治体、そして個人サポートの皆さんと共に積み重ねてきた挑戦の成果です。

SSP は今後も、オートバイを「危険」ではなく「希望」に、「個人の趣味」ではなく「社会の力」へと変えていく活動を続け、誰もが自分らしく楽しめる社会の実現を目指してまいります。

代表理事 コメント

公益社団法人 SSP 代表理事 青木治親

この受賞は、参加者、ボランティア、企業、自治体、そして“一緒にやろう”と言つてくれたすべての仲間と掴んだものです。オートバイには、人の人生を動かす力がある。その可能性を、これからも信じ続け、挑戦を止めません。

